



HI-04 國常立神社

永禄5年(1562)の創建と伝わります。元は妙見神を祀る妙見神社で、明治初期に國常立尊を祭神とする國常立神社になりました。明治43年(1910)からは、吉沢地区内にあった月読神社、八坂神社、皇太神社、大山祇神社、浅間神社を合祀しています。境内には、江戸時代の富士講の一派 山包講を元とする吉沢扶桑教講が建てた浅間大神の碑があります。



HI-07 長泉寺

本寺は、山小川地藏堂に住んだ公家出身の驚夢円了が、かつてこの地にあった寺が消失後再建されていないことを聞き、浄財を募って天正2年(1574)に東光院を建立したことに始まります。天正15年(1587)に円了が没すると、徒弟の一鑑和尚が後任となり、東光院長泉寺と呼ぶようになりました。本尊は薬師如来で、享保14年(1729)銘の半鐘が残り、文政2年(1819)の火災により、現在地に移築されました。



HI-05 鳳来寺

観音堂の向かいにある鳳来寺は、永正12年(1515)、明徳和尚によって開かれたと伝わります。国指定重要文化財の観音堂は、中世城郭吉沢城の鎮護のため、善福寺(廃寺)の仏堂として建てられた茅葺寄棟造の三間堂です。やや小ぶりの方形堂ながら、軒廻りの組物などに本格的な禅宗様式が見られ、室町時代後期の建築と推定されます。昭和41年(1966)の解体修理を機に現在地に移されました。



HI-06 熊野神社

山小川青年館の西側に位置し、伊弉册命・速玉男命を祭神としています。創立年代は不詳ですが、慶応2年(1866)の棟札や明治3年(1870)の寄付の記録が残ります。境内には6基の出羽三山の石碑があり、最も古いものには天保8年(1837)の銘が刻まれます。また、出羽三山講の大日堂は、令和4年に地元地域の協力で改築されたものです。



見学される皆様へ

- ★歴史遺産は、郷土の歴史文化を伝えてくれるかけがえのない財産です。個人所有物であったり、私有地に置かれている場合もありますので、マナーを守って見学しましょう。
- ★駐車場は基本的にありませんので、公共交通機関を利用しましょう。路上駐車や無断駐車は厳禁です。
- ★社寺の境内や墓地は、信仰の対象です。行事が行われていたりする場合もあるので、迷惑にならないよう行動しましょう。
- ★ゴミは必ず持ち帰ってください。
- ★他人の家や社寺など建物の中に、無断で入らないようにしましょう。
- ★見学の際は、所有者の許可を得るのが基本です。特に団体で見学されるような場合は、事前に了承をとるようにしてください。
- ★保存や管理の都合上、公開日が決まっていたり、見学ができない場合があります。事前に確認して、公開日に見学しましょう。

いちほらフィールドマップ

制作・発行：市原市教育委員会

市原歴史博物館 〒290-0011 千葉県市原市能満1489番地 Tel.0436-41-9344 Fax.0436-42-0133

令和8年3月 第1版第1刷発行

I Museum Field

平三



平蔵川沿いに文化が栄え、平安時代から続く武士の記憶と県内有数の木造建築が残る平三エリア。山深いこの地には、険しい地形を活かした信仰や美しい里山の風景が今なお受け継がれ、豊かな自然と古き良き歴史的景観が交差しています。

I Museum



HI-01 熊野神社

祭神は天照大神・伊邪那岐命・伊邪美命です。寛平9年(897)に祀られ、大永6年(1521)にこの地を治めた土橋平蔵が再建したと伝わります。天保11年(1840)に再建された旧社殿は昭和32年(1957)に全焼し、翌年現在の社殿が再建されました。境内には文政7年(1824)造立の灯籠のほか、道祖神や縄文時代の石棒など多くの石造物が残ります。



HI-02 西願寺

平蔵の光堂と呼ばれ、平蔵城主土橋平蔵が鬼門守護のため建立したと伝わります。内部の厨子と併せて国指定重要文化財の阿弥陀堂は、茅葺寄棟造の三間堂で、軒廻りは二重の扇垂木が大きく張り出し、組物などに本格的な禅宗様式が見られます。昭和2年(1927)の解体修理で見つかった墨書銘により、明応4年(1495)に鎌倉の名人二郎三郎によって建てられたことが分かりました。



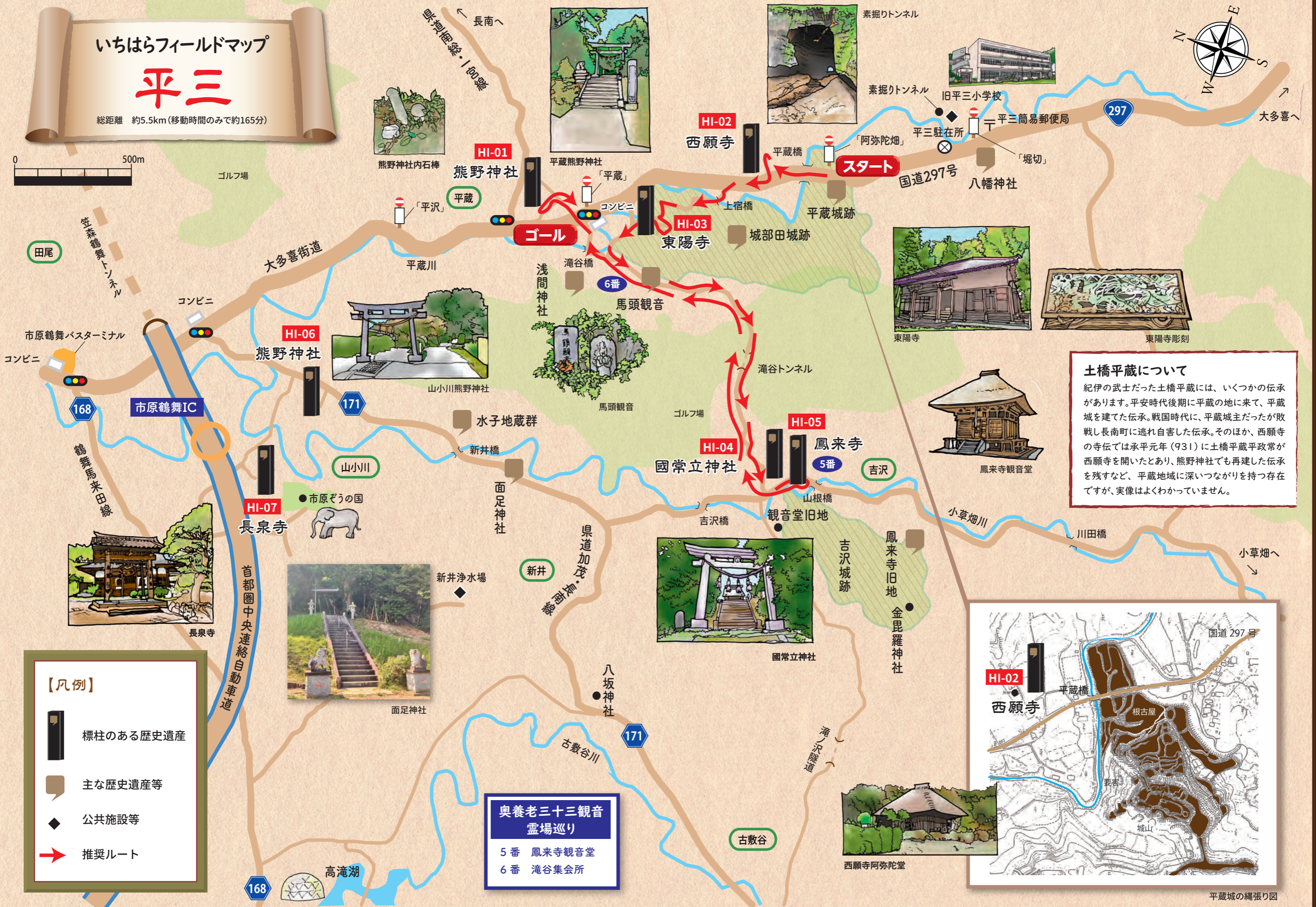
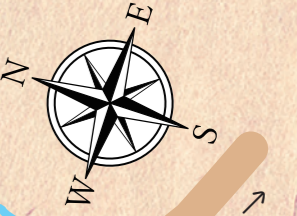
HI-03 東陽寺

玉明山地蔵院東陽寺では見事な鳳凰の欄間彫刻が迎えます。開山開基は不明ですが、享保8年(1723)に、第4世尊順和尚が火伏本尊として瀧見観音菩薩像を再興したとの記録があり、地藏菩薩半跏像とともに信仰されていたことを示す版木が残されています。当寺院の隠居住職が暮らし、のちに廃寺となった平沢の東福寺から、仏像や明和7年(1770)銘の梵鐘が引き継がれています。

いちばらフィールドマップ

平三

総距離 約5.5km (移動時間のみで約165分)



土橋平蔵について
 紀伊の武士だった土橋平蔵には、いくつかの伝承があります。平安時代後期に平蔵の地に来て、平蔵城を建てた伝承。戦国時代に、平蔵城主だったが敗戦し長南町に逃れ自害した伝承。そのほか、西願寺の寺伝では承平元年(931)に土橋平蔵平政常が西願寺を開いたとあり、熊野神社でも再建した伝承を残すなど、平蔵地域に深いつながりを持つ存在ですが、実像はよくわかっていません。



【凡例】

- 標柱のある歴史遺産
- 主な歴史遺産等
- 公共施設等
- 推奨ルート

奥養老三十三観音 霊場巡り

- 5番 鳳来寺観音堂
- 6番 滝谷集会所

